

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)

【公表番号】 特表 2003-515296 (P2003-515296A)
 【公表日】 平成 15 年 4 月 22 日 (2003.4.22)
 【出願番号】 特願 2001-538442 (P2001-538442)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/22 (2006.01)

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 7

H 0 4 L 12/28 3 1 0

H 0 4 B 7/26 1 0 9 G

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 のスイッチングノード (3 G M S C 1) によって制御される第 1 の基地局サブシステムから第 2 のスイッチングノード (G S M M S C 2) によって制御される第 2 の基地局サブシステムへの移動通信システムにおいて、

少なくとも 2 つの接続仕様に従って基地局に接続可能なユーザ機器 (U E) を用い、前記通信システムが前記少なくとも 2 つの仕様の 1 つを用いて前記ユーザ機器 (U E) に接続する異なる基地局サブシステムを有し、

前記第 2 のスイッチングノード (G S M M S C 2) は、前記基地局サブシステムと前記ユーザ機器 (U E) との間のインタフェースにおいて用いられる接続仕様に対応するプロトコルを用いた前記第 2 の基地局サブシステムを制御し、

前記スイッチングノード (3 G M S C 1、G S M M S C 2) は、前記プロトコルの 1 つについてのパラメータセットを内包するハンドオーバー手順でメッセージを交換し、

前記パラメータセットは、前記ユーザ機器 (U E) から前記第 1 のスイッチングノード (3 G M S C 1) に送信されるメッセージから前記第 1 のスイッチングノード (3 G M S C 1) において生成される、ユーザ機器 (U E) のハンドオーバーの方法であって、

前記第 1 のスイッチングノード (3 G M S C 1) は、前記ユーザ機器 (U E) から送信されるメッセージから、前記ユーザ機器 (U E) が異なる仕様に従った接続が可能であるかどうかを検出し、

前記第 1 のスイッチングノード (3 G M S C 1) は、前記第 2 のスイッチングノード (G S M M S C 2) の前記第 2 の基地局サブシステムへの接続のプロトコルに従って前記第 2 のスイッチングノード (G S M M S C 2) への前記メッセージに内包された前記パラメータセットを選択することを特徴とする方法。

【請求項 2】 前記第 1 のスイッチングノードは、異なるプロトコルについてのパラメータセットを生成することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 前記第 1 のスイッチングノードは、前記ユーザ機器から送信されたメッセージから前記パラメータセットを生成することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】 前記スイッチングノードは、1 つのプロトコルについての前記パラメー

タセットを異なるプロトコルについてのパラメータセットにマップすることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】 前記プロトコルの 1 つについてのパラメータセットを内包するメッセージは、後に続くハンドオーバーにおいて、前記第 1 のスイッチングノードからさらなるスイッチングノードへと送信されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】 前記第 2 及び前記さらなるスイッチングノードは、同一であるか、或いは、並んで配置されており、異なるプロトコルを用いた基地局サブシステムを制御することを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】 前記スイッチングノード間のメッセージにおいて内包される前記パラメータセットは、前記第 2 のスイッチングノードと前記第 2 の基地局サブシステムとの間で用いられる前記プロトコルに対応していることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】 前もって定義されたプロトコルについてのパラメータセットが送信され、前記第 2 或いは前記さらなるスイッチングノードにおいて、前記第 2 の基地局サブシステムの制御に用いられるプロトコルについてのパラメータセットへとマップされることを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】 前記パラメータセットが前記前もって定義されたプロトコルのために送信され、さらなるプロトコルのためのパラメータセットは前記前もって定義されたプロトコルの拡張フィールドに内包されることを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】 前記さらなるプロトコルのための前記パラメータセットは、前記拡張フィールドに内包された前記さらなるプロトコルに従うメッセージに内包されることを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】 前記さらなるプロトコルに従う第 1 のグループのパラメータは前記拡張フィールドに内包され、前記第 2 のスイッチングノードは前記前もって定義されたプロトコルから前記第 2 の基地局サブシステムの制御のためのプロトコルへと第 2 のグループのパラメータをマッピングすることを実行することを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】 移動通信システムのスイッチングノードであって、第 2 のスイッチングノードと異なる接続仕様に従う基地局サブシステムへと接続可能なユーザ機器とを伴っており、

前記スイッチングノードは、第 1 の基地局サブシステムの制御手段と、前記第 1 の基地局サブシステムとの接続を前記基地局サブシステムと前記ユーザ機器との間のインタフェースにおいて用いられる接続仕様に対応したプロトコルを用いて行なう第 1 のインタフェースとを有し、

前記スイッチングノードは、前記第 1 の基地局サブシステムから前記第 2 のスイッチングノードによって制御される第 2 の基地局サブシステムへの前記ユーザ機器のハンドオーバー手順において、前記第 2 のスイッチングノードとのメッセージの交換のための第 2 のインタフェースと、前記ユーザ機器から送信されるメッセージからパラメータセットを生成する手段とを有し、前記メッセージは前記第 2 の基地局サブシステムと前記第 2 のスイッチングノードとの間の接続プロトコルのためのパラメータセットを内包しており、

前記スイッチングノードは、

前記ユーザ機器から送信されるメッセージから、前記ユーザ機器が基地局サブシステムへの前記インタフェースにおいて異なる仕様に従った接続が可能であるかどうかを検出する手段と、

前記第 2 のスイッチングノードを前記ユーザ機器のハンドオーバー手順が実行される前記基地局サブシステムに接続するプロトコルに従って前記第 2 のスイッチングノードへの前記メッセージに内包された前記パラメータセットを選択する手段とを有することを特徴とするスイッチングノード。

【請求項 13】 前記スイッチングノードは、異なるプロトコルについてのパラメータセットを生成する手段と前記セットを格納するメモリとを有することを特徴とする請求項

1 2 に記載のスイッチングノード。

【請求項 1 4】 前記 スイッチングノード は、
前記ユーザ機器から送信されたメッセージから前記パラメータセットを生成する手段、
或いは、

1 つのプロトコルについての前記パラメータセットを異なるプロトコルについてのパラメータセットにマップする手段を有することを特徴とする請求項 1 2 又は 1 3 に記載のスイッチングノード。

【請求項 1 5】 前記 スイッチングノード は、
第 1 の接続仕様についてのパラメータセットを第 2 の接続仕様についてのメッセージに内包させる手段を有することを特徴とする請求項 1 2 乃至 1 4 のいずれかに記載のスイッチングノード。

【請求項 1 6】 前記 スイッチングノード は、
第 2 の接続仕様についてのメッセージから、第 1 の接続仕様についてのパラメータセットを抽出する手段を有することを特徴とする請求項 1 2 乃至 1 5 のいずれかに記載のスイッチングノード。

【請求項 1 7】 データキャリアにおける、或いは通信システムにおける基地局サブシステムを制御するスイッチングノードへとロード可能なプログラムであって、

前記プログラムは、第 1 の基地局サブシステムから第 2 のスイッチングノードによって制御される第 2 の基地局サブシステムへのユーザ機器のハンドオーバーにおいて実行され、

前記通信システムは、前記ユーザ機器へのインタフェースでの接続仕様において異なる基地局サブシステムを有しており、

前記スイッチングノードは、前記基地局サブシステムと前記ユーザ機器との間のインタフェースについての接続仕様に対応するプロトコルを用いて基地局サブシステムを制御し

、
前記プログラムは、前記ハンドオーバーにおけるメッセージを前記第 2 のスイッチングノードと交換する手段と、前記ユーザ機器から前記スイッチングノードへと送信されるメッセージから前記パラメータセットを生成する手段とを有し、前記メッセージは前記プロトコルの 1 つについてのパラメータセットを内包しており、

前記プログラムは、

前記ユーザ機器から送信されるメッセージから、異なる仕様に従った接続が可能であるかどうかを調べ、

前記プログラムは、

前記第 2 のスイッチングノードを前記ユーザ機器のハンドオーバー手順が実行される前記基地局サブシステムに接続するプロトコルに従って前記第 2 のスイッチングノードへの前記メッセージに内包された前記パラメータセットを選択することを特徴とするプログラム。

【請求項 1 8】 前記プログラムは、請求項 1 乃至 1 1 のいずれかに記載の方法の少なくとも 1 つの工程を実行することを特徴とする請求項 1 7 に記載のプログラム。